令和元年度

11月 給食だより

流山市立八木南共同調理場

わたしたちは食事からエネルギーや栄養素を補給して、成長したり活動したりしています。わたしたちは自然の恵みをいただいています。命をいただくことへ感謝の心を持って食べてほしいと思います。

食事のあいさつってどんな意味があるの？

かかわった人や命への感謝が込められているよ

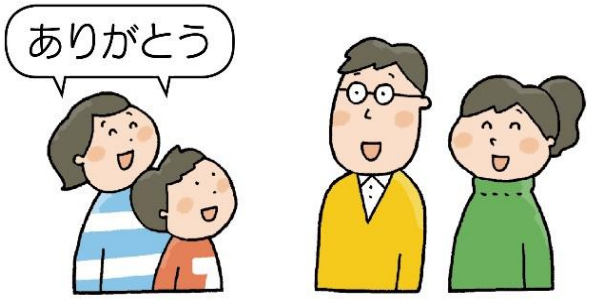
いただきます

食べ物はもともと生きた動物や植物の命です。その命をいただくことへの感謝が込められています。

ごちそうさま

漢字で「ご馳走さま」と書き、食事を用意するために駆け回ってくれてありがとうという意味です。

勤労感謝の日に思いを伝えよう



11月23日は勤労感謝の日です。勤労感謝の日は、「勤労をたっとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日と定められています。身近な人たちに感謝の気持ちを伝えてみませんか？

給食はいろいろな人に支えられています

給食に使われる食材は、農家さんや漁師さん、畜産農家さんなどの生産者が育てたりとったりしたものを、運送業者さんが運びます。そして学校に届いたいろいろな食材を使って、今度は、調理員さんが給食を作ります。給食はこのように多くの人の力によってできているのです。

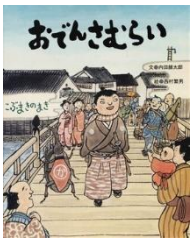
11月24日は和食の日

日本には豊かな自然があり、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。そして一汁三菜を基本とした栄養バランスのよい食事で自然の美しさや季節を表現し、年中行事とも深くかかわっています。この日は、和食や日本人の伝統的な食文化について考えてみましょう。

図書室の山田先生とコラボ

お話給食

11/6 の給食に
おでんが登場



作：内田麟太郎
出版社：くもん出版

貧乏長屋に住んではいるが、実はめっぽう腕の立つ、正義の味方“ひらた・おでん”。彼が、雪のちらつく冬のお江戸を、歩いていると、悲鳴が、、、。見れば、傘おばけの“ぼうず”が、酔っ払った悪い侍にからまれています。ぼうずは病気のおばあちゃんのために、あったかいうどんを買いに町へと出てきたのでした。自分とおばあちゃんを馬鹿にされ、たまらず言い返したぼうずにおそいかかる酔っ払い侍、、。

さあ、おでんさむらいの出番です！

作・絵：スーザン・バーレイ
出版社：評論社

友だちの素晴しさ、生きるための知恵や工夫を伝えあっていくことの大切さを語り、心にしみる作品です。ぜひ、みなさんに読んでもらいたい本です。

推薦：茂古沼先生

賢くて何でも知っているアナグマは、いつもみんなから頼りにされ慕われていました。でも、秋の終わり、年取ったアナグマは自分の死を悟ります。そして、ある夜、長いトンネルを浮き上がるように走る夢を見ながら死にました。「長いトンネルのむこうに行くよ、さようなら　アナグマより」という手紙を残して、、。かけがえのない友だちを失い、残された仲間たちは悲しみ、どうしていいかわかりません。春が来て外に出られるようになると、みんなは互いに、いろいろなことを教えてくれた優しいアナグマの思い出を語り合うようになりました。

11/26 の給食に
しょうがパンが登場

本の中には、しょうがパン（ジンジャーブレッド）というお菓子が出てきます。このお菓子は、柔らかいスポンジ状のものから、薄くて硬い人形のかたちをしたクッキーのようなものまで、様々な種類があります。共通しているのは、しょうがの香りの効いたお菓子であること。しょうがは、古代ギリシャやローマでも古くから薬として珍重されており、記録に残っている最も古いケーキのひとつもジンジャーブレッドと言われています。

給食には、しょうがとスパイスの香りがするしっとりとしたケーキタイプのしょうがパンが登場する予定です。